



平成23年1月期 第1四半期決算短信

平成22年6月14日

上場取引所 東 福

上場会社名 株式会社 三井ハイテック

コード番号 6966 URL <http://www.mitsui-high-tec.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三井 康誠

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 辻本 圭一

TEL 093-614-1111

四半期報告書提出予定日 平成22年6月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年1月期第1四半期の連結業績(平成22年2月1日～平成22年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年1月期第1四半期	12,454	115.9	△175	—	56	—	10	—
22年1月期第1四半期	5,767	—	△2,146	—	△1,737	—	△1,798	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年1月期第1四半期	0.25	—
22年1月期第1四半期	△42.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
23年1月期第1四半期	54,768	—	44,523	—	81.2	1,047.31
22年1月期	53,325	—	43,688	—	81.8	1,027.68

(参考) 自己資本 23年1月期第1四半期 44,471百万円 22年1月期 43,638百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年1月期	—	—	—	—	—
23年1月期(予想)	—	0.00	—	2.50	2.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成23年1月期の連結業績予想(平成22年2月1日～平成23年1月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	24,000	56.8	△200	—	△100	—	△200	—	△4.71
通期	51,500	35.8	200	—	300	—	200	—	4.71

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ「定性的情報・財務諸表 4. その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年1月期第1四半期 42,466,865株 22年1月期 42,466,865株

② 期末自己株式数 23年1月期第1四半期 4,130株 22年1月期 3,833株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 23年1月期第1四半期 42,462,847株 22年1月期第1四半期 42,464,197株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、さまざまな要素により異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。業績予想に関する事項は、4ページ「定性的情報・財務諸表等 3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの主たる需要先である半導体市場、家電市場、自動車市場は、新興国需要などが牽引し回復基調にあるものの、不透明な状況が続きました。

そのなかで、当社グループは新興国需要などに対応するとともに、生産効率向上の取り組みを継続し、収益の改善を図りました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は124億5千4百万円（前年同期比115.9%増）、営業損失は1億7千5百万円（前年同期営業損失21億4千6百万円）となりました。また、当第1四半期連結会計期間末の為替相場が前連結会計年度末に対して円安となり、為替差益が1億6千6百万円発生したことなどにより経常利益は5千6百万円（前年同期経常損失17億3千7百万円）、四半期純利益は1千万円（前年同期四半期純損失17億9千8百万円）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

（プレス用金型事業）

プレス用金型事業については、グローバルな新規顧客開拓を継続するとともに、自動車関連メーカーや家電メーカーなどの精度追求及び生産性向上のニーズに対応しました。その結果、売上高は14億3千7百万円（前年同期比18.6%増）、営業利益は3千8百万円（前年同期営業利益3百万円）となりました。

（ICリードフレーム事業）

ICリードフレーム事業については、設備改善及び工程改善による生産性と材料歩留りの向上に取り組むとともに、台湾拠点の生産能力拡大に努めました。その結果、売上高は75億8千4百万円（前年同期比120.4%増）、営業損失は3億9千5百万円（前年同期営業損失13億8千6百万円）となりました。

（IC組立事業）

IC組立事業については、小型化、高放熱化などの市場ニーズに適合する製品の受注、拡販に取り組みました。その結果、売上高は5億4千1百万円（前年同期比47.9%増）、営業損失は4千9百万円（前年同期営業損失2億2千1百万円）となりました。

（工作機械事業）

工作機械事業については、国内、中国及び北米市場で顧客開拓に取り組みました。その結果、売上高は4億3千3百万円（前年同期比45.9%増）、営業損失は4千1百万円（前年同期営業損失1億3百万円）となりました。

（モーターコア事業）

モーターコア事業については、需要が堅調に推移したことにより、売上高は34億3千7百万円（前年同期比173.8%増）、営業利益は3億9千4百万円（前年同期営業損失2億8千8百万円）となりました。

なお、上記事業の種類別セグメント売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高9億8千万円を含めて表示しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ14億4千2百万円増加し、547億6千8百万円となりました。これは、売上債権、たな卸資産及び有形固定資産が増加したことなどによるものであります。

負債合計は、買掛金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ6億7百万円増加し、102億4千4百万円となりました。

純資産合計は、為替換算調整勘定の増加などにより、前連結会計年度末に比べ8億3千5百万円増加し、445億2千3百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は105億5千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ7千9百万円増加しております。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、11億4百万円（前年同期は16億4千7百万円の獲得）となりました。これは、主に売上債権の増加3億8千1百万円及びたな卸資産の増加3億5千9百万円により資金が減少した一方、減価償却費10億7千3百万円及び仕入債務の増加5億4千9百万円により資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は12億2千2百万円（前年同期は17億5千2百万円の使用）となりました。これは、主に有形固定資産の取得11億5千4百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、自己株式の単元未満株式買取りに要した0百万円（前年同期は2百万円の使用）であります。

なお、上記に加え、資金に係る換算差額の増加1億9千7百万円により、資金が増加しております。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年1月期の業績予想は、平成22年3月17日に発表しました業績予想数値から変更しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

・たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年4月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,651	9,445
受取手形及び売掛金	8,150	7,597
有価証券	1,400	1,500
商品及び製品	1,447	1,490
仕掛品	1,285	934
原材料及び貯蔵品	1,524	1,379
その他	1,004	1,150
貸倒引当金	△9	△8
流動資産合計	24,455	23,488
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	30,166	29,893
減価償却累計額	△20,239	△19,884
建物及び構築物（純額）	9,927	10,008
機械装置及び運搬具	43,309	42,572
減価償却累計額	△35,880	△35,368
機械装置及び運搬具（純額）	7,428	7,204
工具、器具及び備品	19,537	18,789
減価償却累計額	△17,190	△16,615
工具、器具及び備品（純額）	2,346	2,174
土地	7,280	7,262
建設仮勘定	491	512
有形固定資産合計	27,475	27,162
無形固定資産	989	1,000
投資その他の資産		
投資有価証券	728	629
繰延税金資産	123	117
その他	995	927
投資その他の資産合計	1,848	1,674
固定資産合計	30,313	29,837
資産合計	54,768	53,325

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年4月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,372	2,757
1年内返済予定の長期借入金	656	437
未払法人税等	50	57
その他	2,141	2,178
流動負債合計	6,220	5,431
固定負債		
長期借入金	2,843	3,062
退職給付引当金	1,007	1,016
役員退職慰労引当金	57	54
その他	115	71
固定負債合計	4,024	4,205
負債合計	10,244	9,637
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,403	16,403
資本剰余金	17,366	17,366
利益剰余金	13,201	13,191
自己株式	△2	△2
株主資本合計	46,969	46,958
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	147	95
為替換算調整勘定	△2,644	△3,415
評価・換算差額等合計	△2,497	△3,320
少数株主持分	51	49
純資産合計	44,523	43,688
負債純資産合計	54,768	53,325

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年2月1日 至 平成21年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年2月1日 至 平成22年4月30日)
売上高	5,767	12,454
売上原価	6,490	10,966
売上総利益又は売上総損失(△)	△722	1,487
販売費及び一般管理費	1,423	1,662
営業損失(△)	△2,146	△175
営業外収益		
受取利息	18	11
為替差益	315	166
その他	85	91
営業外収益合計	419	269
営業外費用		
支払利息	0	8
固定資産除売却損	3	9
その他	7	20
営業外費用合計	10	38
経常利益又は経常損失(△)	△1,737	56
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,737	56
法人税等	62	44
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△2	1
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,798	10

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年2月1日 至 平成21年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年2月1日 至 平成22年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,737	56
減価償却費	1,167	1,073
退職給付引当金の増減額(△は減少)	17	△9
受取利息及び受取配当金	△18	△11
支払利息	0	8
為替差損益(△は益)	8	13
固定資産除売却損益(△は益)	3	9
売上債権の増減額(△は増加)	1,734	△381
たな卸資産の増減額(△は増加)	283	△359
仕入債務の増減額(△は減少)	94	549
未払又は未収消費税等の増減額	80	9
その他	29	155
小計	1,663	1,113
利息及び配当金の受取額	16	11
利息の支払額	△0	△8
法人税等の支払額	△31	△12
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,647	1,104
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△723	△3
有形固定資産の取得による支出	△1,012	△1,154
無形固定資産の取得による支出	△23	△55
貸付けによる支出	△2	△5
貸付金の回収による収入	4	4
その他	4	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,752	△1,222
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△1	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	△1	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2	△0
現金及び現金同等物に係る換算差額	258	197
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	151	79
現金及び現金同等物の期首残高	10,995	10,477
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,146	10,557

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成21年2月1日 至平成21年4月30日）

	プレス 用金型 (百万円)	I Cリー ドフレ ーム (百万円)	I C 組立 (百万円)	工作 機械 (百万円)	モータ ーコア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又 は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	688	3,396	366	60	1,255	—	5,767	—	5,767
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	524	43	—	236	—	6	811	(811)	—
計	1,212	3,440	366	297	1,255	6	6,578	(811)	5,767
営業利益又は営業損失(△)	3	△1,386	△221	△103	△288	△8	△2,004	(141)	△2,146

当第1四半期連結累計期間（自平成22年2月1日 至平成22年4月30日）

	プレス 用金型 (百万円)	I Cリー ドフレ ーム (百万円)	I C 組立 (百万円)	工作 機械 (百万円)	モータ ーコア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又 は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	716	7,535	541	223	3,437	—	12,454	—	12,454
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	720	49	—	210	—	—	980	(980)	—
計	1,437	7,584	541	433	3,437	—	13,434	(980)	12,454
営業利益又は営業損失(△)	38	△395	△49	△41	394	—	△53	(121)	△175

(注) 1. 事業区分の方法

内部管理上設定している売上集計単位を基準として区分しております。

2. 各事業区分の主要製品

プレス用金型……………モーターコア用抜型、その他の各種部品用精密金型

I Cリードフレーム…… I Cリードフレーム

I C組立…………… I C組立製品

工作機械……………平面研削盤、レベラー等

モーターコア……………モーターコア製品

その他……………その他プレス打抜加工製品他

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成21年2月1日 至平成21年4月30日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	米国 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,232	2,494	40	5,767	—	5,767
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	500	43	0	544	(544)	—
計	3,732	2,537	41	6,311	(544)	5,767
営業損失（△）	△1,484	△507	△20	△2,011	(134)	△2,146

当第1四半期連結累計期間（自平成22年2月1日 至平成22年4月30日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	米国 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	7,356	5,089	8	12,454	—	12,454
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	785	92	17	895	(895)	—
計	8,141	5,182	25	13,349	(895)	12,454
営業利益又は営業損失（△）	89	△133	0	△44	(130)	△175

（注）1. 国又は地域の区分は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する国は次のとおりであります。

アジア……シンガポール・マレーシア・フィリピン・中国・台湾・タイ

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間（自平成21年2月1日 至平成21年4月30日）

		アジア	米国	その他の地域	計
I 海外売上高	(百万円)	3,106	70	117	3,294
II 連結売上高	(百万円)				5,767
III 連結売上高に占める海外売上高の割合	(%)	53.9	1.2	2.0	57.1

当第1四半期連結累計期間（自平成22年2月1日 至平成22年4月30日）

		アジア	米国	その他の地域	計
I 海外売上高	(百万円)	6,266	98	276	6,641
II 連結売上高	(百万円)				12,454
III 連結売上高に占める海外売上高の割合	(%)	50.3	0.8	2.2	53.3

（注）1. 国又は地域の区分は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域は次のとおりであります。

(1) アジア……シンガポール・マレーシア・フィリピン・中国・台湾・タイ等

(2) その他の地域…ヨーロッパ

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。